



みほがゆく

選挙

では大変お騒がせをし皆様に絶大なご支援をいただきながら残念な結果となり誠に申し訳ございませんでした。

選挙のたび毎に対策組織が作られ自民党候補の応援を致しておりますが活動方法にしても候補者選びにしても、有権者の皆様と意識にズレがあるのではないかと心配しています。今回、話題になりましたマニフェストにしても、過去に公約があまりにも守られなかったがために、より具体的に政策を掲げようとしたむきもあり、選挙ムードの盛り上げに使われただけではなかったのかと懸念されます。国会議員は政策を立案し場合によっては内閣で、執行にも関与する立場にあります。地方の場合、議員総数の1/12の議員がまとめれば政策の提案はできますが、執行権者の市長や知事が自らの政策を掲げ選挙で選ばれることもあって野党ならまだしも与党では、議員独自の政策議案をどしどし提出する事は難しい

と思います。執行権のない議員ではどうしても執行部案を審議するだけになりがちです。

国が官主導なのは政策立案能力もさりながら地方議員あがりの国会議員に、その性癖が抜けきれないせいかも知れません。まして首長が、そんな議員あがりでの執行者としての自覚に欠けるとなると大問題です。

責任感希薄な首長のもとでの職員体制も大変ですが何より街は災難です。

選挙で選ばれる或る面の弊害かもしれませんが、それで苦勞している自治体は結構各地に見られます。

幸い本市は、どこよりも自慢できる優れた執行能力と見識を備えた市長を擁しています。市民の見識の高さの現れとも言えましょう。議員の一人として精一杯、市長を支援し、私たちなりの思いや市民感覚を提言しながら、幅広い市の発展につなげればと念じています。14年度市税額は市民一人149,824円です。私は1232人の有権者のご支持を戴きましたが、それは184,583,168円にもなり4年間ではその4倍です。全市民平均ですので一概ではありませんが、何にしても責任の重さは、支持者の方々の税金分だけでも計り知れない程です。議員としての大切な努めは、納税された方々の本意が行政に如何に反映され、お預かりした税金が無駄なく効率よく、まして不正など無く使われることに最大限の留意を払うことと考え精進したいと考えています。

議会

は主とし3、6、9、12月の4回、定例会として開催され3月は予算、9月は決算が審議されます。通常、執行部の提案する議案審議と一般質問が、市長はじめ幹部職員そろって行われます。一般質問は希望する議員だれでもできますが、市政への提言や執行部の実施する事務事業について論議を交わす場になっています。

私も9月定例会には二項目について発言致しました。一つ目は事業予算配分の際、市税を特に負担するであろう分野への対策について提言しました。

<竹内 みほ プロフィール>

- ・S31・3・29 富山県新湊市生まれ
- ・S53・3 関西学院大学社会学部卒業
- ・野田市まちづくり連絡会会員
- ・野田市サイクリング協会理事
- ・花の会・野田会員
- ・野田市スカイスポーツ振興会会員
- ・好きなこと：卓球・茶道・散策

